



## ELNEC-J 「コミュニケーション - 患者の意思決定を支えるために -」

5月からスタートしたELNEC-Jの講義内容を毎回紹介します。  
10月11日のモジュール6では、エンド・オブ・ライフにおけるコミュニケーションの重要性を学びました。

エンド・オブ・ライフにある患者さんやご家族は、さまざまな意思決定を求められます。看護師は、患者さんやご家族にとって納得のいく意思決定を支えることができるコミュニケーションを求められます。

今回は、実践的な事例をもとにロールプレイ（役割演技）を行いました。受講生は患者さん・看護師・観察者の役割を演じることで患者さんのお気持ちや現実を体験し、患者さんが安心できる対応について多くの気づきがありました。

### ELNEC-Jとは

「米国のアメリカ看護大学協会とCity National medical Centerが共同して設立した教育プログラムの日本語版です。

エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための系統的なプログラムとなっています。

### 患者さんが家族や医療スタッフとの コミュニケーションで大切にしたいこと

- ・ 家族に気持ちを伝えられること
- ・ 家族から支えられていること
- ・ 家族と一緒に過ごすこと
- ・ 医師と話し合って治療を決めること
- ・ 安心できる看護師がいること
- ・ 自分の気持ちを分かってくれる人がいること
- ・ 医療スタッフに死についての不安を話せること

### 基本的コミュニケーション

- ★傾聴  
相手に意識を集中し、耳と心を傾けて聴くこと
- ★沈黙  
相手が感情を言葉にできないときや気持ちや考えを整理しているとき、黙って待つこと
- ★共にいること  
全身全霊を傾けてそばに立ち会うこと
- ★共感  
相手の気持ちに寄り添うこと

### 受講生からひとこと



看護師 四元 瑞恵

今回はコミュニケーションの実践について学びました。この講義の中で初めてロールプレイを体験し、看護師役を演じたとき自分の価値観や看護を一方向的に話していることに気づきました。

エンド・オブ・ライフにある患者さんの意思決定を支える為にも患者さんに寄り添い、傾聴・共に考えるスキルを身につけて行きたいと思います。今回自分を見つめ直すきっかけとなりました。今後の講義も頑張ります。

## Happy Halloween

もみのき保育園の園児達が、ハロウィンの仮装をして遊びに来てくれました！！

